

大渡体育館

大渡体育館

まえばし 市議会だより

— 主な内容 —

- 第2回定例会の概要 P.2
- 会派別の質問事項 P.2~3
- 5月臨時会の概要 P.3
- 総括質問 P.4~10
- 議案の議決結果 P.11
- 意見書 P.12

8月から利用が始まった大渡体育館



前橋市議会ホームページ

<https://www.city.maebashi.gunma.jp/gikai/index.html>

第二回定例会を六月十一日から三十日まで開き、「令和二年度一般会計補正予算」などの市長提出議案五十二件、議会議案二件、意見書案十四件を審議しました。その概要を紹介します。

○第1日（6月11日）

鈴木俊司議長が第二回定例会の開会を宣告した後、会期を三十日までの二十日間とすることを決め、三人の会議録署名議員を指名しました。

次に、「令和二年度一般会計補正予算」など二十三件の市長提出議案を上程し、所管の各部長から提案理由の説明がありました。

○第2日（6月18日）

上程中の議案や市政に対し、八人の議員が総括質問を行い、市長や所管の部長などがこれに答えました。（総括質問の要旨は4ページ10ページに掲載）

○第3日（6月19日）

前日に続き、九人の議員が総括質問を行いました。

○第4日（6月22日）

十九日に続き、十人の議員が

総括質問を行いました。

次に、上程中の議案二十三件について、委員会付託を省略し、日本共産党市議団から一般会計補正予算など二議案に対する反対討論の後、採決を行い、全て原案のとおり可決しました。（議決結果は11ページに掲載）

○第5日（6月30日）

初めに、農業委員会の委員に二十四人を任命、人権擁護委員の候補者に三人を推薦したいとする人事議案（氏名は11ページに掲載）と「特別職の職員の給料の特例に関する条例の制定について」など二件の市長提出追加議案が上程され、採決を行った結果、いずれも同意及び可決しました。

次に、議会議案「市議会の議員の議員報酬の特例に関する条例の制定について」及び「市議

会政務活動費の交付に関する条例の改正について」を上程し、採決の結果、賛成全員で可決しました。

続いて、議会の意思として、市民の公益に関する意見を国会や関係行政庁に提出しようとする意見書案十四件を上程し、採決の結果、「SNS上の誹謗中傷の根絶を求める意見書」など四件を可決し、第二回定例会は閉会しました。（可決した意見書の要旨は12ページに掲載）

議員表彰



長年にわたり地方自治の発展と市政の振興に貢献された功績に対し、(写真右から)浅井雅彦、中林章、金井清一、三森和也各議員が議員15年以上で、近藤登議員が議員10年以上で全国市議会議長会から表彰されました。

定例会最終日の開議に先立ち、表彰状の伝達が行われ、次いで、議長及び市長から感謝状が贈呈されました。

会派別の質問事項

- 前橋令明 ①新型コロナウイルス対策と今後の対応②上下水道事業③教育行政④財政運営⑤六月補正予算の福祉医療事業⑥商工関係小規模事業者集中支援金⑦新型コロナウイルス感染症と大による交通事業者への影響と支援⑧市営住宅⑨街路樹の管理⑩新型コロナウイルスに係る小中学校⑪学校給食⑫清掃行政⑬新型コロナウイルス感染症拡大に伴う中小企業融資⑭新最終処分場整備⑮新型コロナウイルス感染症拡大に伴う文化イベント、企画展⑯地域の諸課題⑰園芸振興推進事業⑱防火水槽の設置⑲粕川三号線⑳豚熱予防対策事業

新型コロナウイルス感染症
対策の補正予算などを議決

◀議場で多くの議案を審議



②1 新型コロナウイルスへの対応
 ②2 産業政策 ②3 教育環境 ②4 スポーツ施設 ②5 新型コロナウイルス対策 ②6 学校予算総額裁量制度 ②7 ぶるさと納税 ②8 総合体育大会中止
 ②9 前橋市民球場の改修工事 ③0 南スーダン選手の長期合宿事業 ③1 前橋市5G利活用検討協議会 ③2 民間共創事業 ③3 消防庁舎耐震化事業 ③4 消防職員の警防活動能力向上 ③5 新通信指令システムの有効活用 ③6 高齢者避難情報コールサービス ③7 赤城大沼湖面利用 ③8 スケートボードの練習場所 ③9 新型コロナウイルス後の移住 ④0 新型コロナウイルス感染症に伴う

休校、休園 ④1 歴史まちづくりの取組 ④2 嶺公園樹林墓地の整備 ④3 下川淵地区環境整備 ④4 ウィズコロナ体制

□前橋高志会 ① 新型コロナウイルス感染症に伴う市政状況 ② 新型コロナウイルス感染症対策 ③ 特別職 ④ 市政の課題 ⑤ 地域の課題 ⑥ コロナ禍における財政運営 ⑦ コロナ医療戦士クラウドファンディング ⑧ テレワークをきっかけとした移住政策 ⑨ 地方分権改革、提案募集方式 ⑩ 市役所及び教育委員会からの情報発信 ⑪ 地域の諸課題

□市民フォーラム ① 新型コロナウイルス感染症対策 ② 感染症対策 ③ 福祉施策の充実 ④ 新型コロナウイルスへの対応 ⑤ オンライン学習 ⑥ 休校の長期化の影響 ⑦ 市民アンケートを活用したまちづくり ⑧ 新規事業である市政の総合企画事業

□公明党市議団 ① 福祉医療事業 ② 健康寿命延伸 ③ 特別支援教育の充実 ④ 生活困窮者自立支援 ⑤ 学校給食 ⑥ 学校再開後の運営 ⑦ 城南地区地域内交通 ⑧ 新型コロナウイルス関連支援策と財源確保 ⑨ 新しい生活様式
 □日本共産党市議団 ① 新型コロナウイルス感染症と市政運営の見直し ② 新型コロナウイルス

感染症の検査及び医療提供体制の強化 ③ コロナ危機から教育と子供を守る施策 ④ 前橋工科大学生への支援 ⑤ 新型コロナウイルス感染症に関する諸問題 ⑥ 苗ヶ島の木質火力発電所への指導強化 ⑦ 新型コロナウイルス感染症拡大の影響による生活困窮者支援策

□まほろば ① 新型コロナウイルス対策 ② 水道事業会計 ③ 地域の諸課題 ④ コロナ禍における市民の健康維持と増進 ⑤ 児童、生徒の生活と学習 ⑥ 自転車のまち前橋の推進とサイクルスポーツの振興 ⑦ 高齢者と障害者の方々

の社会参加及び政治参加
 □赤利根 ① 新型コロナウイルス感染症に対する取組
 □なないろ ① スーパーシティ構想 ② 新型コロナウイルス対策

議会議案を賛成全員で可決
 今期定例会において、議員報酬を令和二年七月から九月の三か月間、一〇%減額する特例条例案が議員提案され、賛成全員で可決しました。
 また、政務活動費については令和二年十月から令和三年二月の五か月間、月額二万円減額する条例改正案が議員提案され、賛成全員で可決しました。

5月臨時会

五月二十七日に臨時会が招集されました。鈴木俊司議長が開会を宣告した後、会期を一日とすることを決め、三人の会議録署名議員を指名しました。

次に、議案第六十号「令和二年度一般会計補正予算」など六件の市長提出議案を上程し、所管の各部長から提案理由の説明がありました。

続いて、五人の議員からの質疑が行われた後、議案第六十号に対する修正案を上程し、提出者を代表して三森議員が提案理由の説明を行いました。

次に、市民フォーラムから議案第六十号に対する反対討論、前橋令明、前橋高志会、公明党市議団から議案第六十号に対する賛成討論、日本共産党市議団から議案第六十号修正案及び市長提出の六議案に対する賛成討論、まほろばから議案第六十号など三議案に対する賛成討論の後、採決を行った結果、議案第六十号は修正案を否決して原案を可決し、議案第六十一号など五議案については全て原案のとおり可決及び承認し、五月臨時会は閉会しました。（議決結果は11ページに掲載）

避難所における感染症予防 阿部忠幸議員

〈問〉大雨などの災害で指定避難所を開設する必要性が生じたときに、避難所においても新型コロナウイルス感染症に配慮した対応を考慮しておくべきです。感染症拡大予防対策の実効性を高める取組について、どのように考えているのか伺います。

〈答〉避難所の開設や運営を中心的に担う担当職員に対する研修を充実させることにより対応したいと考えます。また、保健師による避難所の巡回を実施する体制を整え、衛生管理の確認や避難者の健康相談などにも対応していきたいと考えます。

高齢者のフレイル予防

〈問〉高齢者は外出自粛や新たな日常生活に適応を求められ、運動不足やストレスが懸念されます。また、基礎疾患の悪化やフレイルなどの二次的な健康被害が多く出てくると言われていますが、フレイル予防を主眼とした対応について伺います。

〈答〉自宅で気軽にできるピンシャーン！元気体操のリーフレットを配布するとともに、ユーチューブなどでの動画配信や期間

限定でラジオ放送を行い、市民の健康維持、フレイル予防の支援に向けて取り組んでいます

林幸一議員

高校生の医療費助成

〈問〉本市の所得制限や自己負担のない中学校卒業までの医療費助成は全国的にも手厚い制度です。更に、令和三年四月から実施する高校生の入院費の無料化に関連する補正予算が計上されていますが、市長の公約である通院費を含めた完全無料化を早く実現するべきだと考えます。当局の見解を伺います。

〈答〉子育て世代に優しい環境づくりを行っていくという本市のスタンスに変わりはありませんが、新型コロナウイルス感染症の感染の収束と今後の経済状況の推移を見ながら、十八歳までの通院費も含めた無料化を検討していきたいと考えます。

小規模事業者への支援金

〈問〉令和二年五月の臨時会で議決された商工関係小規模事業者集中支援金は、市内の従業員五人以下の事業者を集中的に支援することを目的とし、一律五万円を支給するものです。今後ホームページやフェイスブックなどで周知PRを図っていくにしても、周知に至らなかった

人への配慮も考えなければなりません。申請期間の延長や予算額の増額も必要と考えますが、当局の見解を伺います。

〈答〉六月三十日まで申請を受け付けていますが、予算として推計した六千件を総数とするに既に申請率は九三%となっています。最近の一日当たりの申請件数は減少傾向ですが、予算総額については、今後の申請状況を見ながら柔軟に対応していきたいと考えられています。

堤波志芽議員

今後の自治会活動は

〈問〉新型コロナウイルス感染拡大防止の対応はしばらく続くと予想されます。国や県の状況に応じて自治会活動の自粛要請をしているとのことですが、今後の対応について伺います。

〈答〉県の警戒度に応じた行動基準と国の示す新しい生活様式を自治会活動に置き換えた目安を作成し、各自治会長に送付しました。今後も新しい生活様式を各自治会に浸透させていきたいと考えており、引き続き国や県の動向を注視し、状況に応じた対応を行いたいと考えます。

公園のスポーツ器具

〈問〉自粛生活の中で子どもを外で運動させてあげたいと考え



バスケットゴールの設置例

る保護者は多いと思いますが、身近な公園にはバスケットゴールやサッカーゴールなどのスポーツ器具がありません。①理由②市民からの要望を伺います。

〈答〉①幅広い年齢の人が比較的狭い空間で一緒に利用することから、安全な利用や周辺環境の保全を踏まえて設置していない状況です②年間数件の要望が寄せられますが、安全確保や利用者マナーについて、設置後の事例も含め説明させていただきます、慎重に対応しています。

小淵一明議員

学校給食事業者への補償

〈問〉学校給食の提供が長期間にわたり中止となった影響は大きく、学校給食から撤退した事業者があるとの新聞報道がありました。事業者に対する補償などの対応について伺います。

〈答〉三月、四月分として事業者に発注済みの食材は、事業者に不利益が生じないように、キャ

ンセルできない食材は全て市で購入する対応を取っています。米飯、パン及び麺類を提供する事業者からは四月分の発注に対する補償などについて協議の申し出があり、今後適切に対応したいと考えています。

群大附中通りの拡幅整備

〈問〉群大附中通りの拡幅整備区間には幸塚町の信号交差点があります。現在の状況は待機スペースもなく非常に危険な状態です。拡幅整備区間の進め方について伺います。

〈答〉令和二年度に拡幅整備区間の用地買収及び移転補償の用地交渉を進めていく予定です。用地交渉や電柱移設の進捗状況にもよりますが、地域の皆さんの強い要望である幸塚町交差点の安全確保を図るため、なるべく早い時期に交差点の改良工事に着手したいと考えています。

豊島孝男議員

耐震性貯水槽の用地確保

〈問〉耐震性貯水槽を必要な場所へ設置するために、公用地に限らず積極的に用地を確保すべきですが、見解を伺います。

〈答〉公用地に限った整備では用地確保に苦慮する可能性があります。市内の配置状況、建物密集度や付近の水利状況など

を慎重に見極めたうえで、新たな整備手法も研究します。

市道粕川三号線の進捗

〈問〉市道粕川三号線は重要な幹線道路と考えますが、整備事業の①進捗状況②今後の進め方について伺います。

〈答〉①地元関係者との協議は進めています。用地の提供や道路線形に同意が得られない箇所があります。②工区を分割して整備効果の高い区間から進めることも必要と考えており、地区ごとに道路整備へ向けた勉強会を開催したいと考えています。

須賀博史議員

寄附の受け入れを簡単に

〈問〉市民から特別定額給付金を寄附したいという問い合わせをいただきましたが、手続きが難しいためちゅうちよとしてしまっているようです。市民の厚意を生かすためには、より簡単な寄附の受け入れが必要だと思いますが、当局の見解を伺います。

〈答〉感謝状の希望がなく、広報への掲載も希望しない場合は、各支所や市民サービスセンターでも受け入れられるようにしていきます。更に気軽な方法として、市庁舎一階、各支所、市民サービスセンターに募金箱を設置したいと考えています。

市民活動団体に対する支援

〈問〉市民活動団体は営利を目的とせず、公益的な目的を持って自主的に活動しており、収入も限定的であるため、新型コロナウイルス感染症の影響により、スポーツや各種業界など多くの市民活動団体が運営に支障を来しています。引き続き継続的なヒアリングを実施するとともに、支援がじゅうぶんに及んでいない各種団体の課題などについて支援策を講じるべきだと思いますが、市長の見解を伺います。

〈答〉公益的な活動を束ねる各種団体の痛みは、これから我々に届いてくると思います。国の第二次補正予算やサマーレビューで生み出す財源により、議会にも諮りながら支援していくケースがあると思います。

小岩井僚太議員

GIGAスクール構想

〈問〉年々増加する災害や新型コロナウイルス感染症により、

子どもたちや学校現場のICT環境整備の重要性を多くの人が感じていると思います。GIGAスクール構想に向けた今後の取組について伺います。

〈答〉構想の目的である児童生徒一人一台のICT端末整備に合わせた指導の研究のほか、ICT教育の研修やGIGAスクールサポーターの導入など新たな体制整備が必要だと考えますが、実現には大きな財源の支出が伴うため、学校現場の意見も聞きながら取り組んでいきます。

上武道路の四車線化と道の駅

〈問〉平成二十九年三月に全線開通した上武道路は、四車線未整備区間で渋滞が発生しており、早期の全線四車線化が必要だと考えます。また、沿線に建設予定の新たな道の駅は、本市の魅力を発信、販売する大きな役割を持っており、地域活性化が期待されます。①四車線化②道の駅の進捗状況について伺います。

〈答〉①事業を行う国土交通省より、令和二年度に上武上泉交差点から上武鳥取交差点までの区間を整備する予定だと聞いています。②現在九六・三%の用地を取得しており、引き続き取得完了に向けた手続きを進めるほか、外周道路や造成工事などの



市庁舎1階の募金箱

令和二年度内発注に向け、関係機関と調整を図っています。

新井美加議員 児童の受け皿の確保を

〈問〉今後新型コロナウイルス感染の第二波が到来し、放課後児童クラブが混み合うことが予想されます。臨時休館中の児童館を民間の児童クラブに開放するなど、児童クラブ以外の受け皿の確保が有効だと考えますが、当局の考え方を伺います。

〈答〉不測の事態に備えた受け皿の確保は有効な施策だと考えます。児童館の活用は実効性が非常に高い案ですので、活用方法について研究していきます。

歴史的風致維持向上計画

〈問〉本市は平成二十五年度から歴史文化遺産活用室を設置し、調査研究活動やイベントなどを通じて、市民の歴史的意識を向上させてきた実績があると捉えています。歴史的風致維持向上計画の策定における①考え方②進捗状況について伺います。

〈答〉①歴史的風致の設定や重点地区の範囲、具体的な施設整備について歴史文化遺産活用委員会からの提言書を参考に検討していきます②新型コロナウイルスの感染拡大により、国土交通省との事前協議が行っていない

状況ですが、今後速やかに事前協議を行い、年内に外部協議会を発足したいと考えています。

中林章議員 玉村新橋の建設実現

〈問〉玉村新橋の建設は、前橋南部地域における最大かつ重要な事業であり、市長も選挙公約で実現を訴えていましたが、令和二年度の取組を伺います。

〈答〉新橋建設に向けての協議会において、前橋市長が会長職を引き継ぐこととなりましたので、玉村町と連携しながら、県へ取組をお願いしていきます。

前橋の将来像

〈問〉新しい生活様式を求めていく間に、これまでの前橋らしい価値がなくなってしまうのではないかと心配しています。ウイズコロナ体制における前橋の将来像を市長に伺います。

〈答〉全国一の生きやすいまちを目指し、テレワークやAIなどの新しいものにチャレンジしながら、基本的な公共工事なども行い、バランスのいい市政運営をしていきます。

林倫史議員 スケートボードの練習場所

〈問〉東京オリンピックの正式種目に採用されたスケートボードは、ほとんどの公園で利用が

禁止されており、練習場所の確保が難しいようです。①本市の現状②今後の展望を伺います。

〈答〉①一般の公園利用者が危険を感じる行為もあり、共存は難しい状況です②前橋総合運動公園にスケートボード広場を整備する予定ですが、安全に利用できる施設とするため、関係団体などと協議していきます。

学校施設の環境改善

〈問〉学校施設の環境改善は、学校開放や災害時に指定避難所として利用する地域の人にとっても重要です。学校施設のトイレ改修の現状を伺います。

〈答〉大規模改造工事による校内トイレの改修、各学校の必要に応じた部分的な洋式化、災害時に避難者が利用する屋外トイレの改修などの方法で実施しています。また、屋外トイレは令和二年八月までに一部洋式化を実施する予定です。

前橋高志会

窪田出議員

飲食店への支援

〈問〉コロナ禍で影響を受けている飲食店への支援として、①今後踏まえた先売りチケット



文化の定着②国土交通省が緊急措置として行う食事提供のための道路占用の許可基準の緩和に対する当局の見解を伺います。

〈答〉①先売りチケットはこれまでも飲食イベントなどで販売されていますが、文化としての定着には至っていませんので、現在実施している資金繰り支援のニーズや成果などを見極め、事業者からの意見も聞きながら検討していきます②市内には広瀬川河畔のような野外での飲食スペースにふさわしい空間もあらえるように働きかけ、連携していきたいと考えています。

市内への宿泊客の誘引

〈問〉本市では、市内宿泊客が少ないという観光面の課題に対する打開策として、スポーツ大会やコンベンション誘致などでの宿泊に力を入れてきましたが、コロナ禍により大会やコンベンションが中止となる中、今後どのように宿泊客を誘引するのか、当局の考えを伺います。

〈答〉国や県が行う観光キャンペーンに際し、本市としてこれまで群馬DCを想定して磨き上げてきた観光資源やスローシティ観光を全面的に打ち出して観光客の入れ込み、業界の景気回

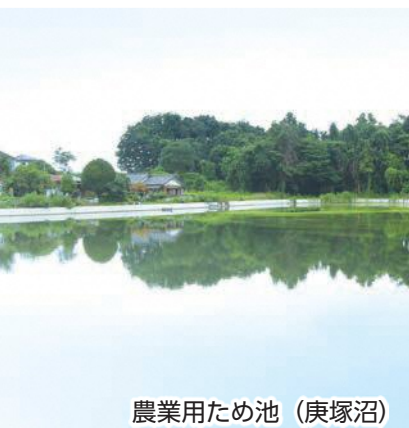
復に努めていきます。キャンペーン後は、新しい観光コンテンツの創出を推進し、観光喚起や事業者需要喚起に結び付けていく支援が必要であると考え、現在分析、検討しています。

金井清一議員

農業用ため池の管理と整備

〈問〉農業用ため池は防災重点ため池とそれ以外のため池が存在しますが、①管理状況②防災重点ため池以外のため池の整備状況と対応について伺います。

〈答〉①防災重点ため池は農業用としての利用が多く、地元の管理組合などが維持管理していますが、それ以外のため池は適切に維持管理されていない現状です。農業用に利用されているため池については、引き続き地元管理組合などに管理をお願いいたします②整備要望が数か所提出されており、令和元年度は粕川地区の庚塚沼と宮城地区の山田貯水池で護岸ブロック整備工事



農業用ため池（庚塚沼）

を行いました。令和二年度は桂萱地区の堤沼上沼で、護岸ブロック整備工事と西側道路の整備工事を予定しています。

オンライン型の公民館講座

〈問〉桂萱公民館では、令和二年五月よりパソコンやタブレット端末、スマートフォンなどを活用したオンライン型の公民館講座を開講しました。オンライン講座の①実施の経緯②現状③今後の課題について伺います。

〈答〉①新型コロナウイルスの今後の感染拡大や終息時期が不透明なため、公民館に來なくても学べる新しい講座の在り方を模索しました②六つの公民館で本市公式ユーチューブチャンネルでの動画配信による講座を実施及び企画しており、今後も実施する公民館は増える予定です③公民館におけるWiFi環境の整備、動画編集に必要なパソコンや機材の充実など、ICT環境の整備が必要です。

近藤登議員

医療費無料化の考え方

〈問〉本定例会に上程された補正予算には、福祉医療事業費の追加として十八歳までの医療費無料化に向けた準備経費が計上されています。コロナ禍で大きなダメージを受けた市内経済の

再生を優先し、一定期間の先送りが必要だと考えますが、当局の考え方を伺います。

〈答〉十八歳までの医療費無料化については、通院費まで含めた無料化を想定して準備を進めていきましたが、新型コロナウイルス感染症の財政面に与える影響を考慮し、実施の見送りも含めて慎重に検討を行った結果、経済的不安感が高まっている現在、行政が子育て世帯を支援する姿勢も重要であると判断し、事業の優先順位と経済的影響を考慮して、まずは子育て世帯に過重な負担になりやすい入院費に限定して令和三年四月から実施することとしました。

〈問〉雑草の繁茂や病気などにより、赤城白樺牧場のレンゲツツジが危機的な状況となつていきます。赤城山の風景を象徴する貴重な観光資源を守るため、市の主導によるバラ切りボランティアの再開が必要だと考えますが、当局の見解を伺います。

〈答〉平成二十九、三十年度に赤城山観光連盟主催で実施されましたが、令和元年度は豚熱感染拡大防止のため中止となりました。令和二年度も引き続き白樺牧場バラ切りボランティア業

務として予算計上していただきます。地元や関係団体と調整を図り実施していきます。

市民フォーラム

宮田和夫議員

対策諸経費の財源不足

〈問〉本市の新型コロナウイルス対策諸経費は地方創生臨時交付金を大幅に上回っており、一般財源を活用せざるを得ません。また、連日の新聞報道で県内自治体の支援策が報じられていることから、市民の関心、期待があるものと思われれます。新型コロナウイルス対策に伴う①一般財源支出の現状②財政調整基金の利活用の考え方を伺います。

〈答〉①財源不足額として、五月補正予算では三億五千万円、六月補正予算では九億二千万円を財政調整基金から一般会計へ繰り入れる状況であり、現段階で十二億七千万円の財政負担が生じています②財政負担の増加と税収の減少が懸念されますが、このような不測の事態において地域経済や市民生活を支える有効な手だてに対して、引き続き活用が必要だと考えます。

学校における三密対策

〈問〉学校における三密対策として換気の徹底を指示していま



教室に設置されているエアコン

すが、教室のエアコンの温度を一律に設定していることや、電気料金が総額裁量予算であることに一抹の不安を覚えています。また、登下校時のソーシャルディスプレイスを確保するため、日傘の活用を実現してほしいと思いますが、見解を伺います。

〔答〕 エアコンの設定温度については今後検証を行い、適切な教室環境を維持できる設定としていきます。電気料金についても、子どもたちの健康を守ることで最優先だと考えますので、教室環境の実情について学校と情報を共有しながら、適切に使用できるように対応していきます。また、日傘については、各自の判断により活用するよう学校や家庭に周知する予定です。

細野勝昭議員

高齢者の健康増進

〔問〕 新型コロナウイルスによる環境変化への対応として、さまざまな施策を展開しています

が、高齢者の健康増進に係る指導上の留意点を伺います。

〔答〕 新しい生活様式を踏まえ、ピンシヤン！元気体操をはじめ、地域での健康づくりや集いの場を徐々に再開する予定です。

学校の再開における課題

〔問〕 学校が本格的に再開したときに授業の遅れをどう取り戻すかが課題であると思います。授業日を確保する手法によっては子どもたちのストレスにつながるため、子ども本位の発想による環境づくりが重要だと考えますが、当局の見解を伺います。

〔答〕 子どもたちの過度な負担とならないよう、県教育委員会が示した授業時数の七〇%を基に、各学習の時間配分や学習活動の重点化を踏まえた年間指導計画例を示しました。また、夏季休業日十日間、県民の日、冬季休業日二日間を合わせた十三日間を授業日として確保します。

三森和也議員

子どもたちへのメッセージ

〔問〕 児童生徒は、新型コロナウイルス感染の恐怖をはじめ、さまざまな行動制限などの急激な変化に向き合い、学校生活を再開しています。このような時代に生きる児童生徒の育みについて教育長の思いを伺います。

〔答〕 子どもたちには、自分の経験に学んで成長できる人、あたりまえを支える人に感謝できる人になってほしいです。子どもたちの我慢とがんばりにありがとうと伝えるとともに、充実した学校生活となるよう応援し、環境を整えていくようというメッセージを送りたいと思います。

介護事業所の事業継続支援を

〔問〕 新型コロナウイルスの影響長期化が懸念される中、介護事業所の運営継続を心配する声が多く届いています。市内各事業所の①現状把握②事業継続のための支援について伺います。

〔答〕 ①利用者が感染のおそれからサービスを休んだり、事業所が利用人数の調整をしており、利用機会が減っていることは承知していますが、詳細な利用状況については給付実績を分析していきます②事業所が困っていることを早急にアンケート調査し、支援策を検討していきます。

公明党市議団

新井美咲子議員

ナッジ理論の活用

〔問〕 人の心理的な傾向に着目した行動経済学のナッジ理論は、厚生労働省発行の受診率向上施策ハンドブックに掲載されてお

り、オプトアウト方式の導入も特に効果が期待できる施策の一つとして紹介されています。オプトアウト方式は、がん検診の受診率を特定検診並みに向上させることも可能であると考えますが、ナッジ理論を活用した健康診査の受診率向上に向けた本市の取組について伺います。

〔答〕 県が毎年開催している受診率向上の研修会において、本市職員もナッジ理論の活用方法などを学んでおり、がん検診の勧奨通知などを発送する際にナッジ理論を活用し、検診に心向けさせるような取組を行っています。なお、希望項目選択ではなく、全ての項目の受診を前提としたオプトアウト方式については今のところ活用していませんが、今後も受診率向上に向けて、さまざまな手法を調査研究していきたいと考えます。

中里武議員

プレミアム付き地域振興券

〔問〕 新型コロナウイルス対策の緊急支援策として、市民の消費喚起とともに経済活性化を図るためのプレミアム付き地域振興券を発行すべきだと考えますが、当局の見解を伺います。

〔答〕 新型コロナウイルス対策としての本市の経済支援は、国

や県の支援が届かない所への支援を基本に考えているため、国や県の今後の支援策を見極めるとともに、交付が予定されている地方創生臨時交付金の動向を踏まえて検討していきます。

書籍消毒機の導入を

〈問〉図書館での新型コロナウイルス感染症対策として、本市では返却された書籍を職員が手作業で消毒している状況ですが、運営の合理化も含め、市民が安心して利用できるよう書籍消毒機を導入してはいかがですか。

〈答〉書籍消毒機は安定した除菌、消臭などが期待され、安心して利用していただくための有効な手段だと考えます。購入やリースなどの手法を検証しながら、利用者の多い施設からの導入に向けて検討していきます。

高橋照代議員

ICTによる学習機会の確保

〈問〉一人一台のタブレットPC整備の実現は、学習障害などを持つ児童生徒の学習や長期入院、不登校傾向などで学校に來られない児童生徒の状況に合わせた学習にたいへん有効であると思います。このような児童生徒の学習機会の確保という視点で、ICT活用をどのように捉えているのか伺います。



タブレットPCの活用

〈答〉ICTの活用は、児童生徒がオンライン学習を通して、登校できない中でも自分に合った内容やペースで学習に取り組んだり、教師から成果を認められて自己肯定感を高めることで再登校への意欲が高まるといった効果が期待できます。また、毎日の連絡をオンラインで行うことで児童生徒との関係づくりや学校とのつながりを維持したりする活用も考えられます。新たな学習機会確保の手段としてICTの活用はたいへん有効であると考えますので、タブレットPC整備と併せて活用を検討していきたいと考えています。

日本共産党市議員団

長谷川薫議員

医療機関への市独自支援策

〈問〉令和二年二月から現在に至るまで感染をおそれて受診を抑制した市民もあり、市内の中核的な病院でも月に一億円近く

の減収となるなど、経営状況が危機に陥っています。本市は医療機関が多く健康医療都市としてアピールしてきたのですから、市独自の支援策が必要だと思いますが、見解を伺います。

〈答〉帰国者・接触者外来を設置する医療機関に対してクラウドファンディング型ふるさと納税で集まった寄附金を配付し、医療現場を包括的に支援するための費用として活用してもらったことを考えています。また、県へ財政的支援の要望を行うとともに、市が備蓄するマスクやガウンなどの医療用資器材を提供していきたいと考えます。

近藤好枝議員

医療機関への支援は

〈問〉新型コロナウイルス感染症による自粛と受診抑制によって、今までも診療報酬が削減されてきた病院経営に大きな風が吹き荒れています。本市は医療先進都市として胸を張っているのですから、事業の見直しなどで財源を確保し、診療所や歯科医院なども含めて支援すべきです。そうでなければ医療から撤退する所も出かねません。今後の流行に備え、安心して受診できる環境を整えるためにも医療機関の立て直しに支援するのは

当然だと考えますが、市長の見解を伺います。

〈答〉我々は医療都市として日赤病院などに財政的な支援をしていますし、やるべきことはやっていると思います。いろいろ検討していきます。

中道浪子議員

教室の三密を回避するために

〈問〉教室での三密は子どもたちの命に関わる問題であり、教員の努力だけでは回避できません。三密を解消する環境づくりが求められており、新しい生活様式に切り替えるためにも、二十人前後の少人数級への改善は急務です。①教員の増員と少人数級②施設の増設について計画を立てる必要があると思います。が、教育長の見解を伺います。

〈答〉①まえばしスクールサポート事業を更に推進して、児童生徒の学習の遅れや心のケアに対応していくことが、まずは必要だと考えます②現在は校舎の



小学校における授業の様子

総括質問

老朽化が喫緊の課題です。子どもと教職員の実情をしっかりと見据え、最善と思われるバランスの中で教育行政を進めることがたいせつであると考えます。

小林久子議員

就学援助制度の見直しを

〈問〉就学援助制度については、コロナ禍により家計が急変した子育て世帯も対象とし、保護者への周知と早急な対応が求められています。就学援助制度の所得基準は生活保護基準の一・一倍ですが、県内自治体の平均である一・三倍まで引き上げ、子育て世帯をしっかりと支援していくべきです。①対応②所得基準の見直しについて伺います。

〈答〉①家計が急変した世帯からの相談を随時受け付けており、審査方法や認定基準についても検討しています②生活保護世帯の最低生活費が引き下げられ、多くの世帯が対象外になってしまつたため、引き下げ前の所得基準で審査しています。所得基準の見直しは、認定状況を見ながら慎重に検討していきます。

まほるぼ

浅井雅彦議員

電子申請の課題と取組

〈問〉コロナ禍における緊急対

策として行われた特別定額給付金では、マイナンバーカードを利用した電子申請受付が行われましたが、さまざまトラブルが発生しました。①今回の電子申請の課題②本市における電子申請の取組について伺います。

〈答〉①マイナンバーカードや電子申請に課題があるのではなく、短期間で事業が開始されたため、申請者への周知期間や利用したシステムに課題があったものと考えます②今後も電子申請の導入には積極的に取り組むたいと考えますが、現時点でマイナンバーカードの普及率が課題ですので、マイナンバーカードがなくても本人確認が必要な電子申請が行える新しい電子申請ツールを期間限定で試験導入し、行政手続きの電子申請化を見据えた課題の洗い出しなどを行ってまいります。

高齢者の健康維持、増進

〈問〉新型コロナウイルス感染

拡大防止のため、地区公民館などでの活動自粛や基礎疾患を持つ人への外出自粛要請により、高齢者の心身の健康維持、増進

岡田修一議員



が困難になっていると思われるが、介護予防、フレイル対策の今後の展開を伺います。

〈答〉高齢者が新型コロナウイルスの感染を防ぎつつ、安心して地域の集まりに参加できるように、介護予防事業における感染拡大予防ガイドラインを作成し、介護予防サポーター主催の体操クラブに配布しました。今後は地域の実情に合わせて、新しい生活様式を踏まえた形での活動再開をお願いしています。

赤利根

岡正己議員

学校の再開には的確な対応を

〈問〉新型コロナウイルス感染拡大防止のための休業措置、学校再開について、よりの確な対応を取るための①判断の根拠となる本市独自の基準②学校現場からの意見聴取が必要と考えますが見解を伺います。

〈答〉①日々変化する感染の状況から、明確な判断基準づくりは容易ではありませんが、今後研究を進めるとともに、子どもたちの様子や各学校の状況を確認しながら、安全と学びが保障できるような適切な措置を講じていきます②具体的な対応は学校の実情に応じる必要があるため、

臨時校長会議などで学校現場の意見を聞き取り、市として一定の基準を定めています。今後も校長会との連携を密にし、適切な措置を講じていきます。

なないろ

入澤蘭子議員

スーパーシティ構想への懸念

〈問〉スーパーシティ構想では、多様で膨大なデータを集めて利用するため、個人情報流出や目的外利用を懸念する声があります。また、5Gの利活用により暮らしが便利になる一方で、電磁波による健康被害を指摘する論文も増えています。本市はこの構想にアイデアを提出し、公募に申請する予定ですが、①個人情報取り扱い②5Gの安全性に対する見解を伺います。

〈答〉①個人情報保護法に基づき適切に取り扱うとともに、計画策定に当たっては、住民や利害関係者の意向を踏まえつつ、地域や市民に寄り添った形で進めていきます②人体へ与える影響などの安全基準を定めた電波法を遵守しているため、安全性が確保されていると考えます。



議案の議決結果

5月臨時会及び第2回定例会に提出された議案の議決結果は次のとおりです。

○市長提出議案

※賛成・反対の双方があった案件は網掛けで表示しています。

議案	件名	議決結果
第60号	令和2年度前橋市一般会計補正予算	可決(多数)
第61号	令和2年度前橋市国民健康保険特別会計補正予算	可決(全会)
第62号	前橋市国民健康保険条例の改正について	可決(全会)
第63号	令和2年度前橋市一般会計補正予算	可決(多数)
第64号	令和2年度前橋市水道事業会計補正予算	可決(全会)
第65号	前橋市特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の改正について	可決(全会)
第66号	前橋市職員の特殊勤務手当に関する条例の改正について	可決(全会)
第67号	前橋市長等の損害賠償責任の一部免責に関する条例の改正について	可決(全会)
第68号	前橋市固定資産評価審査委員会条例の改正について	可決(全会)
第69号	前橋市市税条例の改正について	可決(全会)
第70号	前橋市地方活力向上地域における固定資産税の課税の特例に関する条例の改正について	可決(全会)
第71号	前橋市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の改正について	可決(全会)
第72号	前橋市介護保険条例の改正について	可決(全会)
第73号	前橋市福祉医療費の支給に関する条例の改正について	可決(全会)
第74号	前橋市国民健康保険税条例の改正について	可決(全会)
第75号	前橋市都市の低炭素化の促進に関する法律関係手数料条例の改正について	可決(全会)
第76号	前橋市建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律関係手数料条例の改正について	可決(全会)
第77号	前橋市銃砲刀剣類所持等取締法関係手数料条例の改正について	可決(全会)
第78号	前橋市立学校設置条例の改正について	可決(全会)
第79号	物品の購入について(災害対応特殊救急自動車)	可決(全会)
第80号	物品の購入について(高規格救急自動車)	可決(全会)
第81号	物品の購入について(水槽付消防ポンプ自動車)	可決(全会)
第82号	物品の購入について(消防ポンプ自動車ぎ装)	可決(全会)
第83号	物品の購入について(学校給食器)	可決(全会)
第84号	土地の買入れについて(前橋市新設道の駅整備運営事業用地)	可決(多数)
第85号	水道事業における濁水事故に係る損害賠償の額を決定することについて	可決(全会)
第86号	農業委員会の委員の任命について(石村 利夫)	同意(全会)
第87号	農業委員会の委員の任命について(須田 一男)	同意(全会)
第88号	農業委員会の委員の任命について(松島 敏男)	同意(全会)
第89号	農業委員会の委員の任命について(青木 朱美)	同意(全会)
第90号	農業委員会の委員の任命について(澁澤 聖一)	同意(全会)
第91号	農業委員会の委員の任命について(深町 富士雄)	同意(全会)

議案	件名	議決結果
第92号	農業委員会の委員の任命について(関根 由彦)	同意(全会)
第93号	農業委員会の委員の任命について(奥野 和子)	同意(全会)
第94号	農業委員会の委員の任命について(小堀 清)	同意(全会)
第95号	農業委員会の委員の任命について(矢端 晴美)	同意(全会)
第96号	農業委員会の委員の任命について(江原 弘)	同意(全会)
第97号	農業委員会の委員の任命について(星野 和幸)	同意(全会)
第98号	農業委員会の委員の任命について(下田 将文)	同意(全会)
第99号	農業委員会の委員の任命について(齋藤 禎)	同意(全会)
第100号	農業委員会の委員の任命について(伊能 良雄)	同意(全会)
第101号	農業委員会の委員の任命について(関 けい子)	同意(全会)
第102号	農業委員会の委員の任命について(横室 辰雄)	同意(全会)
第103号	農業委員会の委員の任命について(坂本 忠)	同意(全会)
第104号	農業委員会の委員の任命について(井田 健)	同意(全会)
第105号	農業委員会の委員の任命について(小池 真澄)	同意(全会)
第106号	農業委員会の委員の任命について(平野 豊一)	同意(全会)
第107号	農業委員会の委員の任命について(須賀 民雄)	同意(全会)
第108号	農業委員会の委員の任命について(阿久津 昌枝)	同意(全会)
第109号	農業委員会の委員の任命について(松田 智之)	同意(全会)
第110号	人権擁護委員の候補者の推薦について(鈴木 正明)	同意(全会)
第111号	人権擁護委員の候補者の推薦について(吉田 幸男)	同意(全会)
第112号	人権擁護委員の候補者の推薦について(山本 エマ)	同意(全会)
第113号	令和2年度前橋市一般会計補正予算	可決(全会)
第114号	前橋市特別職の職員の給料の特例に関する条例の制定について	可決(全会)

* 氏名については敬称略

報告	件名	議決結果
第1号	令和2年度前橋市一般会計補正予算の専決処分について	承認(全会)
第2号	前橋市市税条例等の改正の専決処分について	承認(全会)
第3号	前橋市国民健康保険税条例の改正の専決処分について	承認(全会)

○修正案

議案	件名	議決結果
第60号(修正案)	令和2年度前橋市一般会計補正予算に対する修正について	否決

○議会議案

議案	件名	議決結果
第1号	前橋市議会の議員の議員報酬の特例に関する条例の制定について	可決(全会)
第2号	前橋市議会政務活動費の交付に関する条例の改正について	可決(全会)

賛否の公表

賛成・反対の双方があった議案について表示します。(○賛成、●反対)

議案番号	会派名 議員名	前橋令明											前橋高志会				市民フォーラム				共産党			公明党			ま		赤		な											
		青木登美夫	中林章	鈴木数成	須賀博史	横山勝彦	岡田行喜	阿部忠幸	鈴木俊司	新井美加	豊島孝男	林幸一	小渕一明	堀波志芽	林倫史	小岩井僚太	近藤登	窪田清一	金井久	笠原英明	小曾根公隆	富田修一	角田和也	三森和也	宮田勝昭	細野彰	藤江	長谷川	中道浪子	小林久子		近藤好枝	石塚武	中里武	新井美咲子	高橋照代	浅井雅彦	岡田修一	岡田正己	入澤繭子		
第60号		○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
第60号(修正案)		●	●	●	●	●	●	/	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
第63号、第84号		○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

* 議長は議決に加わらないため「/」で表示しています。
* 会派名: 共産党(日本共産党前橋市議会議員団)、公明党(公明党前橋市議会議員団)、ま(まほろば)、赤(赤利根)、な(なないろ)

意見書

第二回定例会では、意見書案四件を可決し、国会などに提出しました。要旨は次のとおりです。

○SNS上の誹謗中傷の根絶を求める意見書

SNS上での誹謗中傷問題の深刻化を受け、総務省は令和二年四月に専門家らによる研究会を発足し、情報開示の対象の見直しや開示手続きの円滑化といった対策を協議して十一月をめどに報告書を取りまとめる方針となっているが、ネットの誹謗中傷で心に悩みや苦痛を抱えている被害者の救済のためにも、論議を速やかに進める必要がある。

SNS上の誹謗中傷の根絶に向け発信者情報開示の在り方や法律の改正、制定



SNS上の誹謗中傷の根絶を

について、速やかに取り組むよう国に強く要望する。

○地方財政の充実・強化を求める意見書

二〇二一年度の政府予算と地方財政の検討に当たり、地方財政の確立のため、次の事項について速やかな実施を国に求める。

① 増大する地方自治体の財政需要を的確に把握し、これに見合う地方一般財源

総額の確保を図ること② 新型コロナウイルス対策として新たに政府が予算化した交付金については二〇二一年度予算においても財源を確保すること。また、教育現場における三密対策などのための財政的支援を図ること③ 会計年度任用職員

の処遇改善に向けて財源確保を図ること④ 森林環境譲与税の譲与基準については地方団体と協議を行い、林業需要の高い自治体への譲与額を増大させるよう見直すこと⑤ 各種税制の廃止、減税を検討する際には代替財源の確保をはじめ、自治体の財政運営に支障が生じることがないよう対応を図ること⑥ 地方交付税の法定率

を引き上げ、臨時財政対策債に頼らない地方財政を確立することなど。

○新型コロナウイルスに係る助成金に係る課税についての意見書

新型コロナウイルスの影響で倒産した企業の増加ペースは加速しており、個人の生活にも大きな影響を及ぼしている。

国、県、市町村においてはさまざまな支援策を講じており、その多くは事業者にとっては救済策となり得る施策であるが、助成金などは減収に補填するものであれば、課税対象の事業所得などに含まれてしまう。

現下の状況を鑑み、県、市町村が実施した新型コロナウイルス感染症対策に係る助成金などは、全て非課税にするよう国に強く要望する。

○中学校・高等学校の部活動の大会開催時の支援についての意見書

新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、部活動の大会は全国、県において全て中止となった。スポーツ庁と全国高等学

校体育連盟は、練習の成果を発表できる場の設定を各都道府県の自治体や高等学校体育連盟に要望している。地方自治体が大会を実施した場合に、感染拡大防止対策、競技団体の調整、人員配置、財政支援などを行うよう次の事項について県に要望する。

① 開催会場の確保及び使用料の減免を行うこと② 開催会場、関係者の感染対策を講ずること③ 短期集中開催となることから、担当教員、指導者への支援策を講ずること④ オンラインで開催できる大会に対しての支援策を講ずること。

五月及び六月に開催した主な会議は次のとおりです。
()内は開催回数です。
本会議(6)、総務常任委員会(1)、教育福祉常任委員会(1)、市民経済常任委員会(1)、建設水道常任委員会(1)、魅力あるまちづくりと交通政策調査特別委員会(1)、議会運営委員会(9)、各派代表者会議(8)など

議 会 日 誌

議 員 が 行 う 調 査 研 究 な どの活動に必要な経費の一部として、議員一人当たり月十萬円の政務活動費を会派に対して交付しています。令和元年度分の収支報告書及び領収書などの証拠書類は市庁舎二階の情報公開コーナー、市議会ホームページで公開しています。

政務活動費の情報公開

第三次定例会は、九月一日(火)から二十四日(木)までの二十四日間を会期とする予定です。
八日(火)と九日(水)の二日間は議案や市政に対する総括質問、十一日(金)と十四日(月)から十六日(水)までの四日間は各常任委員会の決算審査を行う予定であり、本会議の傍聴は議会庁舎五階、常任委員会の傍聴は議会庁舎一階で受け付けています。
なお、発熱などで体調が優れない方は傍聴をご遠慮いただき、本会議についてはインターネット中継をご視聴くださるようお願いいたします。

次 回 の 定 例 会

前橋市議会
〒371-8601 前橋市大手町二丁目12-1
☎224-1111(内線2323) 直通☎898-5923